

AR台本

製作

**SUNRISE**  
バンダイビジュアル

# THE ガンダム

48

ACT:22

Hydra

**注意**

サンライズアニメ制作用資料です。  
無断で複製、有償・無償譲渡、貸与、  
交換等した場合は、法律により罰せら  
れる場合があります。

~~修正済~~



『神の名においてこれを鑄造する。汝ら罪なし』

〈12世紀のドイツの死刑執行人達の刀剣に刻まれた文字より〉



制作スタッフ

企 画                                  サ ン ラ イ ズ  
原 作                                  矢 立                          肇

コンセプトワーク    さとうけいいち  
スーパーバイザー

---

監 督                                  片 山 一 良

---

シリーズ構成    小 中 千 昭  
    片 山 一 良

キャラクターデザイン    さとうけいいち  
メカニカルデザイン

美術デザイン    佐 藤                          肇

---

音 楽                                  佐 橋 俊 彦  
音楽プロデューサー    野 崎 圭 一 (ピクチャーエンタテインメント)

---

美術監督    太 田                          大 (美峰)  
色彩設計    中 里 智 恵  
撮影監督    福 士                          亨 (T2)  
編 集    山 森 重 之 (ジェイフィルム)

---

音響監督    鶴 岡 陽 太

中華民國二十九年

第一卷 第一期

中華民國二十九年一月

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

第一卷 第一期

音響効果

庄 司 雅 弘 (フィズサウンド)

録 音

はた しょうじ

録音スタジオ

スタジオごんぐ

音響制作

楽 音 舎

音響制作担当

杉 山 好 美

---

ビデオ編集

キュー・テック

---

制作デスク

田 村 一 彦

アシスタントプロデューサー

石 川 達 大

プロデューサー

杉 田 敦

内 田 健 二

大 橋 千 恵 雄

1944年11月1日

東京

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市

東京市



# THE 超電磁ロボ

ACT : 22

Hydra

脚 本	小 中 千 昭
絵コンテ	寺 東 克 己
演 出	吉 村 章
キャラ作監	
メカ作監	
制作進行	藤 井 陽 一 朗



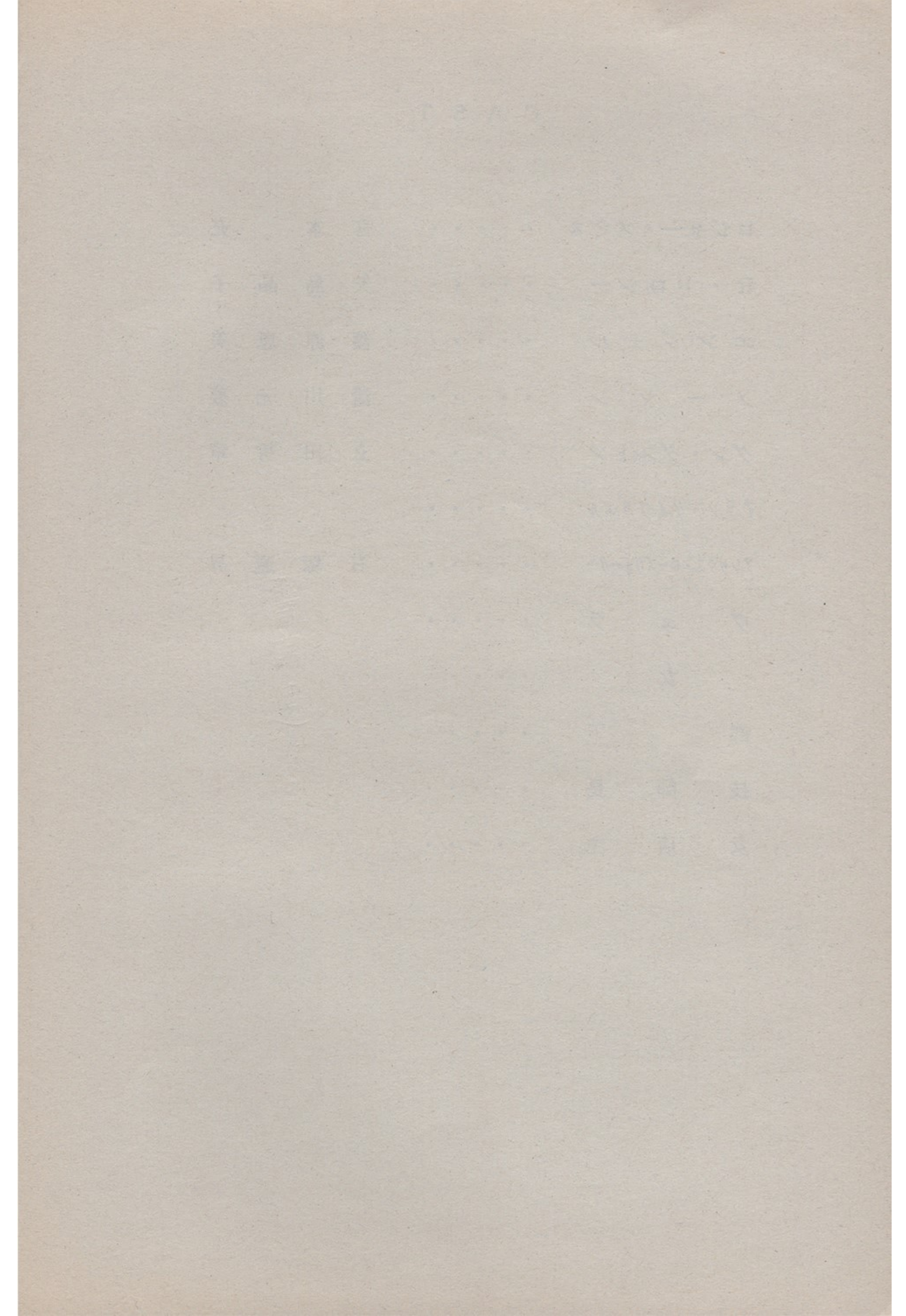
ACT 55

Hydra

THE  
HYDRA  
PUMP  
CO.  
INC.  
NEW YORK  
N. Y.

C A S T

ロジャー・スミス	.....	宮 本	充
R・ドロシー	.....	矢 島	晶 子
エンジェル	.....	篠 原	恵 美
ノーマン	.....	清 川	元 夢
ダン・ダストン	.....	玄 田	哲 章
アラン・ガイブリエル	.....		
アレックス・ローズウォーター	.....	石 塚	運 昇
ヴ エ ラ	.....		
女	.....		
部 下	.....		
技 師 長	.....		
女 店 主	.....		



	7	6	5	4	3	2	1	
画面	女 逃げて来て ビルのカドに身を隠す 通過していく男たちの影 駆け出す女	追う男達	逃げる女 振り向く	有刺鉄線なめ逃げる女 追う男達	追う男の足	走る女の足	F I 降りしきる雨 外灯が怪しく明滅	面
音声			ハアハアハア……	← ← ← ← ← ←		女 ハアハアハア…… (off) 「(息づかい) ハアハアハア……」		音
								声

13	12	11	10	9	8
<p>しがみついている女の手 ひきはがされる</p>	<p>よじ登る女 女につかみかかる警官達の手</p>	<p>フェンスつかむ女の手</p>	<p>P D 路地を逃げて来る女 フェンスに行き当たる</p>	<p>慌てて横の路地に逃げ込む 後方から来る男達</p>	<p>逃げて来る女 ライトに照らされて止まる</p>
<p>女 (off) 「!!!」 !!」</p> <hr/> <p>(SE) ガツシヤ アアン</p>	<p>(SE) ガシヤ 警官達「アドリア」</p>	<p>(SE) ガシツ</p>	<p>女 「ハアハアハア……!」</p>		<p>女 「!!」</p>

20	19	18	17	16	15	14
<p>しつこく叩かれるドア 顔を見合わせる2人</p>	<p>激しく叩かれるドア</p>	<p>男 あ：となり 何か言い掛けた所にノック の音 ドアの方を見る2人</p>	<p>男の見た目・アパートの下</p>	<p>窓外をうかがっている男 荷物つめてる女</p>	<p>スーツケースにシャツを入 れる女の手</p>	<p>(朝)古びたアパート PU</p>
<p>ドンドンドン ドンドンドン ←</p>	<p>(SE) ドンドンドンドン ←</p>	<p>(SE) ドンドンドン</p>				<p>(SE) ザ——— …</p>

28	27	26	25	24	23	22	21
フロントガラスを流れる雨	囲まれている2人	ドア破られ 突入する軍警察 小銃構え	銃を下ろす女 バツと男に抱き付く	首を振る男	ドアに向かって銃を構える それを制する男の手	ケースに手をつ突っ込む女 ピストルを取り出す スライドを引く	ドアにTU
	ダストン(off) 「俺たちはただの犬か…」	(SE) ドカーン ドカドカドカ				ドン ドン	ドンドンドン
			ドーン ドーン	ドーン			(SE) ガシヤツ



34	33	32	31	30	29	
<p>パテオより見上げた青空 ビックファウがIN</p>	<p>スペイン風の住宅街 PAN 停車してあるグリフォン</p>	<p>雨にかすむドーム PAN</p>	<p>リストにエンジェルの写真 FO</p>	<p>叩きつけられるリスト 勢いでめくれ上がる</p>	<p>リストを見つめるダストン リストをふり上げる</p>	<p>リストなめ連行されて行く 2人</p>
<p>(SE) ジーコ ジーコ</p>	<p>(SE) (噴水) ザ——ッ</p>			<p>(SE) バシ</p>		

43	42	41	40	39	38	37	36	35
修理中のファウ	修理中のビッグファウ	アレックス	俯瞰 歩くファウ	操作しているアレックス	歩いて行くファウ	テーブルの上を歩くファウ	嬉しそうなアレックス	不機嫌なロジャー

アレックス「残念ながら、



本物のビッグファウはまだ完全に復元できていない。



足りないんだ」

アレックス(N)「ビッグファウを甦らせるには、

莫大なエネルギーが必要だった。



だが、そのエネルギーを探し出して

～

50	49	48	47	46	45	44
止まるファウの足なめアレックス	倒れるファウ	「ん」となるアレックス 倒れかけるファウ	シワにひっかかる足	ニヤニヤ顔のアレックス	慥然と問うロジャー	リモコンを持つアレックスの手
ギ——ギギギ……	← (SE) ドガシヤ				ロジャー「どういう意味だ？」	← (off) くれたのは君さ。 礼を言っておくよ

58	55	54	53	52	51
ロジャー邸 PAN	ロジャー ガラスなめ顔を上げるロジ	ス ガラスなめ食べるアレック	回廊側から見た絵 PAN ロジャーを促す	イスに座り フォークを取り スパゲッティを巻きつけ 口に運ぶ PU	乱暴にリモコンを置く
		アレックス「用件は君の方にあるんじゃないのかね、ドミユナス」	アレックス「このパパの別荘はボクの趣味に合わないのだが、料理だけはいける。早く食べたまえ、ネゴシエイター」 ロジャー(潜)「君とランチを楽しむつもりはない。用件を早く話したらどうだ」	(SE) ギギ:	(SE) バン!!

66	65	64	63	62	61	60	59
エンジェル	エンジェルなめドロシー	ずぶぬれのエンジェル PU	水がしたたる手元	エンジェルの足元 カーペットに水が落ちる	ドロシー 体ごと向いて	外見ているドロシー 尻、振り向く	暖炉の上の燭台
	ドロシー「こんにちは」				ドロシー「誰…？」	(SE) (床のきしむ音) ギツ…	

73	72	71	70	69	68	67
<p>回想・ドロシーの胸ふみつけて倒すアラン</p>	<p>遠い目をするエンジェル</p>	<p>見つめるドロシー</p>	<p>ドロシー ストーヴなめ振り返るドロ</p>	<p>立ちつくすエンジェル ストーヴの前に来てかがむ 制するエンジェル</p>	<p>エンジェル あゝとなり 目を伏せ、苦笑</p>	<p>ドロシー クールに</p>
	<p>エンジェル 「あなたにも会いたかったの…」</p>		<p>(off) もう出て行くから</p>	<p>ドロシー (off) 「風邪をひくわ。 (on) 暖炉に火を入れなきゃ」 エンジェル 「いいの…」</p>	<p>エンジェル 「そう…そっか… そういう運命になっているって事なのよね…」</p>	<p>ドロシー 「ロジャーは出かけているわ」</p>

81	80	79	78	77	76	75	74
の 目 線 に つ か ま る エ ン ジ エ ル	ふ る え る 銃 が 抜 け て 銃 口 が 下 が る	ル そ の 言 葉 に ゆ れ る エ ン ジ エ ル	そ れ を 見 つ め る ド ロ シ ー	銃 な め ア ラ ン 背 中 で 笑 う	ホ ー ム 上 の 3 人	銃 を 抜 く エ ン ジ エ ル	ド リ ル を 回 転 さ せ る ア ラ ン ぐ っ と 突 き 出 す

88	87	86	85	84	83	82
「アツ」となるエンジェル	見つめるドロシー エンジェルの言葉を遮る	ゆらめく蠟燭の火	握りしめられたエンジェルの手	ストーヴなめドロシー	回想あけ エンジェル 告白	地面に落ちる銃
<p>(off)  だから謝る必要もない」</p>	<p>ドロシー「私が理解する必要は無いと思うわ。</p> <p>←</p> <p>エンジェル (off) 「あなたに理解出来る事なのかどうか判らない。でも……」</p>	<p>(S E)</p> <p>ジジジ……</p>	<p>←</p> <p>あたしはあたしを！」</p>	<p>エンジェル (off) 「許せないのよ……」</p> <p>←</p>	<p>エンジェル 「ほんの一瞬だけ……あたしは、このアンドロイドがこのまま壊されてしまえば……そう思った」</p>	



95	94	93	92	91	90	89	
ロジャー ジロツと見て	ロジャーなめアラン 身を起こす	目で追うロジャー	メインのワゴンが押されて くる	ワゴンを押すアラン	見つめるドロシーの目	口元、歯をくいしばる	力なく微笑む
ロジャー「お前は異国のスパイだった筈だが」				(SE) カラカラカラカラカラ		エンジェル「だけど彼は……」	エンジェル「やっぱりね……そういう子だったんだ……」

1 01	1 00	99	98	97	96
<p>険しい目のアレックス 尻、余裕で微笑む</p>	<p>目を開くロジャー</p>	<p>のり出しかけるロジャー 自分を落ち着かせ 身を引く</p>	<p>アレックス</p>	<p>アレックス アランを示し 芝居気たつぷりに</p>	<p>指をふって気取るアラン</p>
<p>(off) それは愚かでは無かったと</p>	<p>ロジャー「父親を裏切り、異邦人と密約を結んでいた君が、あそこまで恨まれる程卑劣な事をした。」</p>	<p>ロジャー「！」</p>	<p>女は愚かな存在だよ</p>	<p>アレックス「アランは賢い男なんだ。そうそう、賢くない女もいた事を思い出した：</p>	<p>アラン 「大使と呼んで欲しいな」</p>



1 14	1 13	1 12	1 11	1 10	1 09
<p>並べていくアレックス</p>	<p>メインに映るアレックス 小皿を並べていく</p>	<p>アレックスを見据えるロジ ヤー</p>	<p>俯瞰 対峙するロジヤーと アレックス</p>	<p>深く微笑むアレックス</p> <p style="text-align: center;">O L</p>	<p>チェアーをゆらすゴードン</p>
<p>アレックス「この街以外にも生き残った者たちが僅かにいた。ただ生きるだけしか 能がない連中だ。」</p>	<p>アレックス「この街にはそれがある。この街に しかない」</p>	<p>ロジヤー「：メモリーのことか」</p>	<p>アレックス「この街には人が文化を遺す『意味』 を持たされている」</p>	<p>アレックス「ま：いい。もうすぐそれも手に入 れるだろう」 <i>ふん、</i> <i>られ</i></p>	<p>息子に伝える事もせず（吐き棄てる 様に）」</p>

119	1 18	1 17	1 16	115	
アレックス 事も無げに	アレックスなめロジャー	ナイフに映り込んだアレックスの姿	蓋に小さく映るロジャー	見つめるロジャー TU	アランの方を見る PAN
アレックス「共通の目的があつたからさ」	ロジャー「それほど蔑むユニオンと、君は密約を結んでいた」	アレックス「ユニオンとは盗賊連合の事なのだ」	アレックス(お)「奴らは廃虚や砂漠の中で自分達の文化を築く努力もせず寄り集まつて、メモリーという宝物を奪う事にした」	(SE) コトツコトツ	なあ、アラン？ ← ← (SE) コトツコトツ ツコトツ

125	1 24	1 23	122	121	120
ドロシー 淡々と	ピアノに映り込んだドーム	向き合う2人	頷くエンジェル	ドロシー	倒れたままのファウ
ドロシー「ロジャーに伝えるわ」	エンジェル(Off)「アレックスに絶対に奪われな いで。そしてアレックスではない それを狙っている者達からも」	ドロシー(潜)「 <del>＊</del> メモリ」 エンジェル「アレックスが探し求めているメモ リ、この世界の中でこの街にだけ 遺されているメモリ、それは彼に とつても、大事なもののなの」	ドロシー「ロジャーに？」	エンジェル(Off)「伝言をお願いできるかしら」	

1 31	1 30	129	1 28	1 27	1 26
<p>蠟燭を持ったノーマン 見回す様に振り返る</p>	<p>見送っているドロシー 階段を上つて来る音</p>	<p>階段降りて行くエンジェル</p>	<p>エンジェルなめドロシー 離れるエンジェル 見送るドロシー</p>	<p>ドロシーの両肩に手をかけ</p>	<p>エンジェル 微笑んで 歩み出る</p>
<p>ノーマン「はて、ドロシー？ 今ここに誰か来ませんでしたか」 ドロシー「いいえ」</p>	<p>(SE) (別の足音) コツコツ ← ←</p>	<p>トントントン (遠ざかる足音) ←</p>	<p>(SE) (階段降りる音) トントントン エンジェル「じゃあ：」</p>	<p>エンジェル「あたしあなたの事、好きよ。あなたはそうでなくても」</p>	<p>エンジェル「———ありがとう」</p>

143	1 42	1 41	135	134	133	1 32
ファウなめロジャー	ドライバーを回す ファウをかかげる	ファウの背中のネジを閉める アレックス	「んっ」となるノーマン	ドロシー 一人言	床に点々と水に濡れた跡	ノーマン 足元を見る
(off) それ相応の報酬も与えている」	(on) このビッグファウは……。果てしなき荒野の中から、このパーツを集めてくれたユニオンには感謝しているよ。	(off) 「最強のメガデウスなのさ。」	ノーマン「？」	ドロシー「私は嘘だっつけてつける……」		ノーマン「……しかし……」



149	1 48	1 47	146	1 45	1 44
水をはね上げる車	尻、車 I N 車とすれ違うエンジェル	重い足取りで来るエンジェル 手前から自動車が来る	テーブルに置かれるファウ	アレックス 横目で見て 向き直り、一瞬怖い顔 すぐ余裕の顔に戻る	ロジャー 怒りをこらえ
(S E) ザザ!!	(S E) ザ——ツ	(S E) ザ——ツ ← ← ザザザザ		アレックス「勿論、紳士的に送還するつもりだよ。抵抗しない限りはね。 ……」	ロジャー「——ユニオンのスパイを狩り集めて どうするつもりなのだ」

157	1 56	155	154	153	1 52	151	150
水が流入する下水	マンホール内 大粒の水玉が落ちてくる	マンホールに流れ込む水	下水に流れる水	下水口に流れる雨水	道路に広がる波紋 広がりがつつOUT	濡れネズミのエンジェル	水はねをくろうエンジェル
		(S E) ザ ツ	(S E) ゴボゴボ				
	ザ ボチャボチャ						
	ザザザザ						

163	1 62	1 61	1 60	1 59	158
振り返るダストン	指を話す 外を見ているダストン	指で少し開けられたブラインド	F O 下水道が途切れる先に滝壁面に大量の電線 P D	OL 大きな下水道 P U 大量の下水が合流	OL 下水・大量の水が合流
(on) 報告を続けてくれ	部下 (off) 「は？」 ダストン (off) 「なんでもない。」	ダストン (off) 「この長雨……」	(S E) ダストン (off) 「止まないな……」	(S E) ゴゴ	ゴ

1 68	1 67	166	165	1 64	
あさつてを見るダストン 再び書類を見る 部下の声に顔を上げる	自分の書類をめくる部下 ダストン見て	エンジエルの写真	異邦人リスト P A N	デスクの上に目をやるダストン	書類見る部下 顔上げて
部下 (off) 「それから、 ダストン「そっか…」	部下 (潜) 「は…ええとー、 まだ行方が掴めていません」	よんじゅう号は…	ダストン(off) 「さんびやく…」	ダストン「…」 (こぼし)	部下 「あ、はい。リストに挙げられた24人の内、17名は所在を特定。15名は身柄を抑え、順次パラダイム司法局へ移送していただきます」

176	175	174	173	171	170	169
アナウンスしている技師長	OL コントロール室 PAN	プールの中に蠢く無数の光	地底湖を改造したプール	所々停電しているシティ	停電で消えたままの信号	尻、思いをはせる
(on) ビッグファウ再起動のために高圧電流を継続的に通電させる。	技師長 (off) 「(放送) これより			(M) 彼等がこのままこの街から黙って出て行くとは思えん」	ダストン 「何を今更…。	(on) パラダイム社科学部門からの通達ですが、今後とも、断続的にドーム外部に停電があると」

1 81	1 80	1 79	1 78	1 77
<p>スイッチを押す</p> <p>電池ボックスのフタを閉じるアレックスの手</p>	<p>電池をつめて行く</p> <p>電池を受け取るアレックス</p>	<p>手付かずの料理とPU</p> <p>怒りを堪えているロジャー</p>	<p>電撃機なめ横たわるビッグ</p> <p>ファウ PAN</p>	<p>慌ただしく作業員がいきかう</p> <p>ファウに電撃機が降下</p>
<p>(SE)</p> <p>アレックス (off) 「君はこの街で生き続ける事を、まるで囚人の様に思っているみたいだが……」</p> <p>ウイ——ン</p>	<p>(off)</p> <p>ユニオンがこの街の脅威となる事も構わず」</p>	<p>ロジャー「エサをちらつかせて利用するだけ利用したわけか。」</p>	<p>(off)</p> <p>総員すみやかに安全エリアへ退避せよ」</p>	<p>総員すみやかに安全エリアへ退避せよ。</p> <p>くりかえす。</p>

1 88	1 87	186	185	184	1 83	182
<p>皿にぶつかる 小皿を蹴散らし進む</p> <p>進むファウ</p>	<p>リモコンを操るアレックス の手</p>	<p>ロジャーの拳に力が入る</p>	<p>ロジャーなめアレックス</p>	<p>アレックスなめロジャー</p>	<p>微笑むアレックス</p>	<p>ムキになるロジャー</p>
<p>この街、パラダイムシテイというステージに、必要な 主役なのさ」</p> <p>(SE) ガチャン (SE) ガチャン</p>	<p>← ← ←</p>	<p>アレックス (off) 「ボクたちはメガデウスを操る正 当なるメモリーを持っている。」</p>			<p>アレックス 「ボクたちは違うんだよ、ドミュナス」</p>	<p>ロジャー 「そんな事は…」</p>

196	195	1 94	193	192	191	1 90	189
拳に力が入るロジヤーの手	迫るファウ	不敵な笑みを浮かべるアレックス	見つめるロジヤー	塩胡椒入れに迫るファウ	ファウを見つめるロジヤー	テーブルの小物なめ進むファウ	それに見入るロジヤー
						アレックス(off) 「ボクたちに他の舞台など ← ← 要らないんだよ」	(SE) ガチャン



2 05	204	2 03	202	201	2 00	197
見開くロジャールの目 目のUP バーコード	暗がりの大きい子供 ワイプ	子供達 PU 奥に大きな子供のカゲ	のし歩く巨人三体	画面横切る炎	紅蓮の炎に包まれるメガロ ポリス PAN	塩胡椒入れを倒すファウ
				(SE) ゴオ		



2 11	2 10	209	2 08	207	<del>206</del>
<p>手を付き、体を支えている ロジャー 睨み付ける</p>	<p>アレックス 憐れむ様に</p>	<p>落ちて碎ける皿</p>	<p>よろけて立つロジャー 皿が落ちる</p>	<p>勢い良く倒れるイス</p>	<p><del>呆然としているロジャー</del></p>
<p>←</p>	<p>アレックス「大丈夫かね。君のドミユナスとしてのメモリーがそんなに邪魔なら、ボクが全部抜き出してあげたいところだ」</p>	<p>(SE) ガシヤガシヤ</p>		<p>(SE) ガタン!!</p>	

2 17	2 16	2 15	2 14	213	2 12
<p>怒りをこらえているロジャ ーの向うに散る花びら</p>	<p>花の香りをかぐ様に 身をおこし 花をしごいて茎だけにして パツと散らす</p>	<p>花を差し出しているアラン</p>	<p>精一杯に言い返すロジャ ー 目の前に差し出される花</p>	<p>憐れむ様に見つめる</p>	<p>ロジャーなめアレックス</p>
		<p>アラン 「生きる希望を無くしたのだったら言 つてくれよ。」</p>	<p>ロジャー 「私と、そしてビッグオーはお前の望 む様な力には絶対にならない！」</p>	<p>ネゴシエイター</p>	<p>アレックス 「本当の自分がどんな存在かわから ない。だが、苛立つ。そんな人生を 送り続けるつもりかね？」</p>
	<p>あのアンドロイドと一緒に永遠の安 楽を与えてやる</p>				

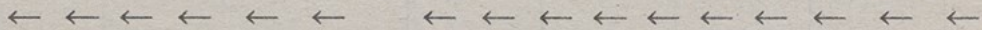
2 23	222	2 21	2 20	2 19	218
エンジェル 市街地・傘をささずに歩く	雨にうたれているドロシー	ロジャー邸・屋上 塀の縁に立つドロシー PAN	グリフォンにもたれかかっている ロジャー P U	ドームの外 PD 路肩に止まっているグリフォン そばに立つロジャー	怒りにふるえる手
	(S E)		(S E)	(S E)	
	ザ   …	← ← ← ←	ザ   …	ザ   …	





239	2 38	237	2 36	2 35	234
アレックスなめファウ PU	手元の先を見つめるアレックス	見つめるアラン	プレーヤーなめアレックス 平然と	回り続けるプレーヤー	アランの背なめアレックス
(off) メモリーが…	アレックス「だが、ボクには必要なのだ。」		(on) 君は新しい人間なんだから	アレックス (off) 「君までメモリーなどという宝物にこだわる必要もないだろう？」	アラン (音) 「特別な、モノ？」

(音楽ここ迄)







262	2 61	2 60	253	252	251	2 50
爆発するプール側面	スイッチを押すヴェラの手 プール対岸で爆発	懐に手を入れリモコンスイ ッチを取り出す それを高く掲げる PU	プールを見つめるヴェラ	同	放電する電極	同・ファウを示す光の輪 大きくなる
(SE) ド——ン	(SE) ドド——ン			ビリビリビリ ←	(SE) バリバリバリ	

2 71	270	2 69	268	267	266	264	2 63
慌てるスタッフと技術長 ファウへの電撃止まる	地下工場・細っていく電撃	穴から流れ出す水流 穴から出ていく巨大なヒレ	水中を移動する巨大なカゲ	穴から流れ出していく水	水面が下がると壁面に大穴	対岸に打ち寄せる波	ヴェラの所へ爆風と水しぶ き

(S E) ザアツ

(S E) ザツパ——ン

(S E) ザザ——

(S E) ゴ——

(S E) ビユウウウム

技術長 「どっ、どうしたんだ!？」

スタッフ「バンガードライン、出カ急速低下  
スタッフ「ボトムライン、パワーアウト」

278	2 77	276	2 75	274	2 73	2 72
店内・ロジャーと店主	花屋の前にグリフォン PAN	怪しく青白く光る空	ドロシーなめ青白く輝くビ ル	気づき、振り向くドロシー	強力な発光 地鳴り 垂直に深い下水路 PU	技術長の後方、パネルの点 滅が電源に逆行 PAN OL
女店主 「今日はおまけしますわ」	女店主 (off) 「いつも御ひいき、ありがとうございます ます」	ゴロゴロゴロ	(SE) (遠雷) ゴロゴロゴロ ← ← ゴロゴロゴロ		(SE) ゴゴゴゴゴ	技術長 「何故急にパワーが落ちた！」 W... 26...

2 83	2 82	281	2 80	279
<p>その時、激しい地鳴り 店の明りが点滅して消える</p> <p>表情強ばるロジャー 「えっ」と花束を見て</p>	<p>時計内モニターのノーマン</p>	<p>店主に背を向け小声で応答</p>	<p>店主 カードを受取り奥へ 時計から呼び出し音 気付くロジャー</p>	<p>カードを出すロジャー</p>
<p>ロジャー「何？」 ノーマン (通信) (off) 「おや、その花束、わたくしにでございますか。ほほほ…。嬉しゅうございます」 ロジャー 「えま いや」 (SE) ブズ——ン ロジャー 「!？」</p>	<p>ノーマン 「ロジャー様、ビッグオーが地下の異常振動を感知しております」</p>	<p>ロジャー 「どうした、ノーマン」</p>	<p>(SE) (呼び出し音) ピピピ</p>	<p>ロジャー (off) 「ありがとう」</p>

289	2 88	2 87	286	2 85	2 84
下水口の奥に複数の目 PAN	せきを切って 大量の水が流れ出す	明りが消えて行く PD 不気味な音が響く 下水が川に変わるトンネル 水が出て来る	次々に吹っ飛んでいくフタ	次々と消えて行く外灯 PAN マンホールのフタ がとんで行く	パラダイムシティ 俯瞰 明りが消えていく建物
(SE) ゴゴゴゴゴ	(SE) ザザザザ——	(SE) オオオオオオ			

2 96	2 95	294	2 93	292	2 91	290
一つが口を開く 三つ並んだ首 P A N	全身を現したイール 嬉しそうに吠える	上昇するしっぽ	マンホール下からしっぽが 出現 P D	イールが頭を上げきる	泥の中から首をもたげるヒ ドライール もう二本同様に持ち上がる	泥と水柱がふき上がる
	(S E) オオオオオオ			オオオオオ ← ← ←	(S E) オオオオオオ	(S E) ズド——ン

304	303	302	301	3 00	2 98	2 97
光るビッグオーの目	時計に向かって叫ぶ	走るロジャー	吠えるイール	鉄骨の上をはう電撃 ふつとぶドームのガラス等	ドームやビル街に放電 市街のあちこちで上がる火 柱	電気をはき出す①の首 続く②、③の首
	ロジャー「ビッグオー」		(S E) オオオオオオ	(S E) バリバリバリ (S E) ババババ——ン	(S E) ・ドウ——ン、ドドド——ン	(S E) バリバリバリ ←

311	310	309	308	3 07	3 06	3 05
橋なめ吹き上がる水柱	「何」と覗き込むヴェラ	突如川面にわき上がるウズ	叫んでポーズ決める	電撃の咆哮を上げるイール 橋の上から見ているヴェラ	イールのはき上げる電気 の柱	地下を疾走するプレーリー ドッグ
(SE) ドバババババ	ヴェラ 「——!？」		ユニオンに栄光あれ!	ヴェラ 「全てを焼き尽くすがいい!!」 ←		(SE) ドドドド



319	3 18	317	316	315	314	3 13	3 12
手前、老人のボートが行く	回想・電撃受けてしびれる ビッグオー	睨みつけるロジャー	ロジャーなめ吠えるイール	すつくと立ったビッグオー	ビッグオーに気付くイール	イールに向かって流れる波 イールの足元でくだける	流れて来てくだける波 向こうに立っているビッグ オー
	(SE) ビビビビビビ	ロジャー「おまえは……」				(SE) ザツパ——ン	(SE) ザアアアン——

3 26	325	324	323	3 22	3 21	3 20
<p>右腕ふりかぶるビッグオー 体当たりしてくるイール</p>	<p>レバーを引くロジャー</p>	<p>突進するイール</p>	<p>川に飛び込むイールの胴体</p>	<p>P U サルベージされたイールの肉片</p>	<p>ダム湖をさらう船達 PAN</p>	<p>イールを引き裂くクロムバスター</p>
	<p>(on) また、それも三倍か</p>	<p>← ロジャー (off) 「イヤな相手だったが</p>	<p>(S E) ズルズル、ドボ——ン</p>		<p>ロジャー (off) 「アレックスの言っていたのは、このことだったのか」</p>	

3 32	331	3 30	3 29	3 28	3 27
首をふつとばすバスター もだえるイール	バスターを放つビッグオー	宙に舞う首 ギヤアとのけぞるイール もう一発バスターが命中	のしかかるイール バスターが発射され、イール の首を吹っ飛ばす	橋を壊して倒れ込むビッグ オー	橋にぶつかるビッグオー 手前に逃げて来るヴェラ
	(S E) シバババ	(S E) ギヤアアアア	(S E) シバババ!!	(S E) ズガガガガ	

339	338	337	3 36	3 35	3 34	3 33	
火花を上げるパネル	しびれるロジャー	電撃に硬直するビッグオー	ビッグオーに電撃を放つ三つ首	再生した頭に目が生まれ口が裂ける	断面から肉が盛り上がり首が再生する P U	「見たか！」のロジャー「あ」と驚く	立ち上がるビッグオー
	ロジャー「しまった!!」		(S E) バリバリバリ			ロジャー「!？」	

345	3 44	3 43	3 42	3 41	340
電撃にのけぞるビッグオー	足元からの電撃をくらうビッグオー 更に三つの首からも電撃	イールのしっぽが足に巻き ついている	OL ビクとも動かないフットレ バー	ロジャー のり出し 「んっ」となる TB 動かないフットレバー	火花を上げるパネル
				ロジャー「くそ！」 ロジャー「!？」	

3 52	351	3 50	3 49	3 48	347	346
合体した先から光が現れ それも合体して一つになる	薄目を開けたロジヤ—	ビッグオー—なめ合体したイ ール PU 口を開けると生体パラボラ となる	首を伸ばしながら 合体させるヒドライール	力が抜けるビッグオー— さらに電撃	電撃に苦しむロジヤ— PU	激しくしびれるロジヤ—
	ロジヤ—「!!」				ロジヤ—「!!」	ロジヤ—「うお——っ」

3 59	3 58	357	3 56	355	354	3 53
戦闘服姿のロジャー 足をふり上げる	プラズマを浴びせられてい るビッグオー	錯乱寸前のロジャー	ビッグオーの残骸が転がる 戦場 PAN 戦うビッグオーとメカ竜	正気を疑うロジャー 焦り	進軍するビッグオーの群れ	目を見開くロジャー W I O U T
ロジャー(M)「いつなんだ」		ロジャー(M)「これは…一体…」			(SE) ザッザッザッザッ	ロジャー「……」

3 66	3 65	364	363	362	361	3 60
更に両肩が開いてコイルが現れる	ビッグオーの両腕が開いてコイルが現れる PAN	見知らぬフットスイッチ	うつろに見つめるロジャー	円状のスイッチ盤を形成	後部から現れるスイッチ盤	床をける戦闘ブーツ 光る (OL) ロジャー (スーツ) になる
グワシヤン!!	グワシヤン! ← ←			(SE) ガシヤーン	(SE) ウイ——ン	
グワシヤン!	グワシヤン!					



3 73	372	371	3 70	3 69	368	3 67
市街地交差点 突如路面が開き 超避雷針が現れる	プラズマを発射するイール	叫ぶ技師長 T B	パラボラの中心にエネルギーを集中するイール	まぶしさをこらえて見ているヴェラ	全身が発光色となる	ビッグオーからプラズマフィールドが生じる
(S E) ゴ——ッ ズド——ン	(S E) シババババ	技師長 「超避雷針射出!!」	(S E) バリバリバリ	ヴェラ 「何だあれは!」	(S E) ヒュイ——ン	

3 80	3 79	378	3 77	376	3 75	374
広がるビッグオーのプラズマフィールド	腕を上げるビッグオー コイル部からプラズマ	フットスイッチをON	力をふりしぼり、右足をケリ出すロジャー	身をひくイール	ビッグオーのプラズマフィールドにはじかれる 超避雷針に向かうプラズマ 避雷針を直撃	ビッグオーに向うプラズマ
	(SE) ジャキーン (SE) ビシシシユ——		ロジャー「(声にならない叫び)!!」			

3 86	3 85	384	3 83	3 82	3 81	
<p>ビルの上、現れる人影 そのままダイブする</p>	<p>煙を上げながら立ち往生し ているビッグオー P U</p>	<p>ファウの目に光がともる</p>	<p>超避雷針なめプラズマファイ ールドが消えて行く</p>	<p>蒸散するイール 向こうにビッグオーの姿</p>	<p>大きくのけぞるイール 光に包まれている</p>	<p>イールを飲み込む</p>
					<p>(S E) グアアアアアア</p>	

3 92	3 91	3 90	3 89	388	3 87
<p>自分の両手を見つめるロジャー 席に深く身体を沈める</p>	<p>ロジャーの右手をひきはがすドロシー</p>	<p>黒づくめの人物なめ気付く ロジャー 右に移動するドロシー</p>	<p>レバーを握ったままのロジャーの左手 何者かの手がひきはがす</p>	<p>気絶しているロジャー</p>	<p>ビッグオーに着地する黒い人物</p>
<p>ロジャー「ありがとう、ドロシー」</p>	<p>ロジャー(off)「(少しボーっとした声)ドロシー」</p>			<p>(SE) (ハッチの開く音) グオー——ン</p>	

3 98	397	3 96	3 95	394	3 93
横目で見ていたドロシー ロジャーを見据えて	微笑むロジャー	ドロシーのフードあげて 髪に花をさすロジャーの手	ロジャー「おっ」と見て 懐に手を入れ 花束を取り出す 1本をひき抜き	ロジャーの胸元に見える花	ロジャーの胸元を見つめる ドロシー
ドロシー「ロジャー、あなたに伝言があるお」 <i>おの</i>	ロジャー「これはお礼さ」		ロジャー「 いや」		ドロシー「——そのお花、ノーマンにあげるの ？」

「んっ」と身構えるロジヤー

---

ロジヤー「」

---

